広報こすど

発行所
小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
印刷発行
編集人 矢部藤三郎

明るく住みよい小須戸町に

新年にあたり今年の抱負

町長 村山吉五郎

昭和四十年を迎えてみなさんおめでとう存じます。

昨年は新潟国体を迎えて前半まことにはなばなしく、特に天皇皇后両陛を獲得するという新潟県にとりては、未曾有の最良の年であると思ったのでありますが、六月十六日の新潟地震をはじめ集中豪雨にみまわれ大災害となり、続いて、秋の収獲期には長雨にて稲作の減収となり害に数々の災難の多かった年でありました。しかし町民みなさんのご努力とご協力とによりまして、本町は大過なきを得たことはまことに不幸中の幸せであったと存ずるしだいであります。ついては私は今年こそは小須戸町を最良の年にいたしたいと念願いたしております。まず小須戸町の水準を引上げ今までの後れを取り戻すようにしたいと存じます。

今年は山之手の水道の通水をおこない、町公営の瓦斯事業の開始をいたし、名実共に大都市同様の文化生活ができ得るようになるのであります。

住宅の建築も継続して今年こそはできる得るだけ多く造って、居住に困っている方々又新婚家庭を持つことができなくて、住宅に不自由している皆さんの希望を叶えて上げたいと計画を進めております。

又今年は役場もぜひ鉄筋コンクリート造りに建築いたしたいと計画進行中であります。

その他保育所の統合建築工事。

完全給食設備の施設。鵜出古木橋の架橋工事。中学校々舎の増改築工事。上水道送水管の改良工事。廃芥焼却場の拡大改良。町道舗装の着手。下水道の改良計画。警察庁舎の新改築工事。産業会館の設置。青年研修場の新設。新産都市計画事業と用地造成計画の推進。農業構造改善事業の邁進。商工産業増進対策。電話速時通話通信対策。以上のほか小須戸町の水準を高くするための設施について、なお一層各般に渉って綜合的に考慮して、今年の政府の施政方針等とにらみ合わせて、もっとも合理的にして経済的な小須戸町開発に、全力を傾注したいと存じております。

今までの小須戸町は公共投資が少なく、あわせて財政的投融資も不足であったため、立遅れておったと思うのであります。これからはつねに全般に注意して、不利不便のなきよう、そのため損害のなきようにして、一日も早く町民みなさんが明るく楽しく、住みよい小須戸町として、郷土の人々はもちろん他の地方からも住みついて、喜ばれる町に造り上げたいと計画を進めております。

永久橋の小須戸橋ができまして、たいへん交通が便利になりました。又散水車を昨年購入して大へん役にたちました。それに地震には新潟市の給水に大活躍をし、つぎには集中豪雨の水害には栃尾市、見附市に給水車として大活躍を続けて地域住民の方々に大へん喜ばれ、県からも小須戸町の面目をほどこしたようなわけであります。

消防自動車も昨年一台山之手に増車いたしましたがこれまた、他市町村の設備から比較して、増大のものでありまして、近隣の市町村から喜ばれ、又うらやまれておりますことは、漸くして小須戸町の前進を示すものとしております。

しかしながら必要以上の施設を無理にして、町長は町費をむだに使いまた、町民に迷惑をかけておるのではないかとご心配するむきもあるかと存じますが、なにとぞご心配ご無用

私は過去の政治経験を生して、万全の計画を立て町民みなさんのサービスに全力を上げ、努力をいたしておるのでありますから、絶大なるご信頼とご声援をお願い申し上げます。私は明けても暮れても、小須戸町民のために、もっとも経済的に合理的で、いかにしたら現在将来とも、より良き小須戸町に造りあげるかを考えて、実行に移しておるのでありますから、ご安心を願います。

なにとぞ町民のみなさんにおかれては、今年もより一層のご協力ご援助をくだされまして、今年は小須戸町向上の年にさせていただくよう、懇願申上げましてごあいさつにさせていただきます。

新年にあたり町民各位のご健康とご発展をお祈り申し上げます。

新年あけましておめでとうございます

小須戸町公民館
広報編集部

ハバロフスクの風にあたり

井上美佐

県連合青年団第一回ハバロフスクの州親善交流派遣団の一員として不束者の私をご推選くだされ町を挙げてのご支援によりその使命を無事果たさせていただきましたことは誠にありがたく、ここにつつしんで町民各位に厚くお礼申し上げます。

東シベリアの大都会ハバロフスクは、人口四〇万の青年都市である。荒涼たるシベリアの原野に移民団がハバロフスク村を開いてから、わずか百六年という浅い歴史しか持ち合わせないのである。

しかし、私達青年が一日たりともとまることを知らず前進するように、明日にはもう大きく成長している。そんな感じの県連合青年団第一回ハバロフスクの州親善交流派遣団の一員として不束者の私をご推選くだされ町を挙げてのご支援によりその使命を無事果たさせていただきましたことは誠にありがたく、ここにつつしんで町民各位に厚くお礼申し上げます。

東シベリアの大都会ハバロフスクは、人口四〇万の青年都市である。荒涼たるシベリアの原野に移民団がハバロフスク村を開いてから、わずか百六年という浅い歴史しか持ち合わせないのである。

しかし、私達青年が一日たりともとまることを知らず前進するように、明日にはもう大きく成長している。そんな感じの華やかな風情を添えていたのは原色に近い鮮やかな女性の服装であった。

女性はあらゆる面に進出し、その職業に誇りを持っている。又女性は非常に優遇され幾多の保障制度の恩恵に預かっている。

が、共嫁ぎを前提とするソ連では家庭にあっては清掃洗濯、買物等みな男性の仕事であるという。

日本女性にとっては全くソ連人が食事の度に好んで飲む特産酒のウオッカ（約二合）千六百円、常食の肉が豚で一キロ千二百円もするのには驚き、政策価格をとっているソ連にしては不思議であった。現在のソ連では全国民が国策としてアパート住いになりつつあり、既に市内では一軒建ての家を見ることができなかった。

被災地新潟というせいもあってか市民の新潟に対する関心は非常に強く一二〇万州民と二五〇万県民の友交が深まることを願う人々の期待は大きかった。

はないかと思われる点もあった。社会保障が完備し、明日の生活が保障されているソ連の国民は実に大様でいつも朗らかであった。しかし、学校も医者も無料だというが月収平均一二〇ルーブル（四万八千円）位でありながら、日常の必需品である衣類や食品類が高くオーバー十万円位、子供セーター五千二百円、又ソ連人の食事の度に好んで飲む特産酒のウオッカ（約二合）千六百円、常食の肉が豚で一キロ千二百円もするのには驚き、政策価格をとっているソ連にしては不思議であった。現在のソ連では全国民が国策としてアパート住いになりつつあり、既に市内では一軒建ての家を見ることができなかった。

被災地新潟というせいもあってか市民の新潟に対する関心は非常に強く一二〇万州民と二五〇万県民の友交が深まることを願う人々の期待は大きかった。

ヘビは神様

蛇年にちなんで

ヘビほど諸民族に宗教的空想をさそった動物はない。諸外国ではいろいろの話がのこされている。

日本でもそのグロテスクな姿態のために、古くはかえって敬われ、神の先駆、ないしは神そのものように思われていた。

神がヘビに姿をかえて人間の異性を訪れるという話は「常陸風土記」の〈努賀毗咤（ぬかめ）〉の話をはじめ、古典に多いばかりでなく、伝説、昔話のほうでも〈蛇むこ〉〈蛇女房〉の話として各地に多い。

池や沼の主を大ヘビであるとして、これに向かって雨ごいをする風は全国的であるが、県内高市の農村では卯月（うづき―旧四月）中の巳（み）の日に、山中から捕えてきたヘビを見て晴雨を判断する神事があり、出雲の海辺部では、旧十月の〈お忌み荒れ〉に、海辺に打ち上げられた海ヘビを、海神からの使者として拝む風がいまに絶えない。出雲をはじめ山陰の各地では部落ごとに祭る荒神（こうじん）の祭に、わらにつくったヘビを奉納する風があり、近幾の中央部では同様のことを山の神の祭にしている。家の神をヘビだとする信仰も多く、その場合の正体はたいてい白ヘビであるが、山陽や四国では、ときには〈とうびよう〉と称する小ヘビを、守護神というより憑物（つきもの）として祭っているとうわさされる家があり、世間ではこれを忌みきろう。しかしこの〈とうびよう〉の俗信には日本古来のヘビ神の信仰のほかに、大陸から入った要素も加わっているも思われる。

蛇は一つには星座の名でもある。夏の夜の天の川に沿った星座でヘビつかい座によって頭部、尾部に二分される。頭部はかんむり座の南につづきヘビつかい座の下部でとざされ、尾部はわし座の東に天の川のさけ目に沿ってのびているのが、星の中のヘビである。さらに概略の位置をしめせば頭部赤経十五h三五m、赤緯＋8°、尾部赤経十八h〇m、赤緯。15である。すこし科学的にはなったが、なんにつけ蛇はあまり気持のよいものではない。昭和四十年は、気持よくすごしたいものだ。

軌道にのる国民年金

初産声上げて五年軌道に乗った国民年金という感はありますが最近は被保険者の方々の認識も深まりつゝありますことはまことに喜こばしいことであります。だが厚生年金よりの移行者に対する資格取得関係が今だ万全とはいえません。このことについては被保険者の方々による外はないので厚生年金を脱退されました場合は早急に国民年金に加入されますよう。又厚生年金等に加入されました場合も同様衷矢届をされるよう、転出入の場合も同様となります転出入後そのまゝにしておかれますと事故等の場合は中間の年金を受けることができなくなりますので十分ご注意くださるよう重ねてお知らせします。

昭和三十五年十月一日現在に於て五十才未満の人は必ず加入しなければなりません未加入の場合は六十五才はもちろん七十才になっても年金を受けることができません。

お問合せは電話二七〇番へ有線三〇番へ

現代青少年はなにが必要か

全国青少年代表会議に出席して

九州阿蘇国立青年の家で開かれた代表者会議に参加してきました。町から銭別をいただいたり、広報に載ったりした手前、一生懸命やらなくてはと、腕まくりをして敵地へ乗り込む思いでした。青年の家は、大カルデラ大阿蘇の山懐に抱かれた、芝草の繁る空気のおいしい所に建っています。一日の生活は、朝六時半から夜九時迄計画でぎっしり詰めてあって、物事をゆっくり考える暇等与えられていません。良いと思った事、正しいと思った事は急ぐ態度に示めさないと、どんどん友だちから追い抜かれてしまいます。厳しい現社会の縮図のように感じます。

全体会議の後、分科会討議です「青少年の公徳心」と「勤労青少年の余暇利用と学習」について四つの分科会に分かれて討議したのです。僕は第二分科会に所属して「青少年の公徳心」について話し合いました。皆んなある程度県大会で話し合っている問題ですし、興味あるものですから、分科会では喧喧囂囂峰の巣を突いたようでした。座長団も私等書記団もまとめるのに夢我夢中でした。第二分科会では、〃家庭のしつけ〃〃非行少年〃〃現代の青少年に必要な公徳心〃〃公衆衛生〃〃不良マスコミ〃〃暴力的行為の排除〃〃席譲り運動〃〃小さな親切〃〃奉仕活動〃〃等細部まで話し合いましたが、一つスローガンを掲げる事にしました。「良い事は勇気を持って自分から」私たち代表が、各県へ帰ってからは、社会やおとながどうであろうと、まず自分たち青少年だけでも強い勇気と自信を持って公徳心を守るなら、社会は自ら青少年を精神力として、明るい社会となってくれるのではないかと堅く誓い合いました。

第四日目噴煙上げる阿蘇へ登山、岩場をえっちらおっちら登るのです。小休止をして見おろす阿蘇は素晴らしい、外輪山は牧草が一面繁り、放牧されてある牛が豆のように見え、雄大な阿蘇を一身に感じ思わずヤッホーって叫んでしまいました。

その夜はキャンドルサービスで親睦を深め、阿蘇の夜を楽しく過しました。

終日全体会議の各分科会まとめをもって幕をおろしました。五日間はほんとうに楽しく夢のように過ぎて、代表者は各県へ帰った後も、この日の思い出をいついつまでも忘れないために、友情を育てる事を誓って別れました。今となっては、分科会、阿蘇登山、フォークダンス、キャンドルサービス、それから風呂の中で論議した事、洋食でフォークの使い方に面くらった事、一つ一つが楽しい思い出となって目の周りに再映して来ます。以上とめどもなく能の無さを示しましたが、どんな事が収穫だったか問われても、答える事ができません。九州へ旅行する事自体が始めてですので、全部が収穫だったと答えるより他に答が見つからないのです。ただ一つ希望します。

このような意義有る機会を、代表者だけでなく広く青少年に与えて欲しいのです。そうする事によって公徳心、遵法精神が養われ明るい健全な青少年が育成されるのではないでしょうか。

新潟県代表　古木健治

税金をらくに納めるための

納税貯蓄組合

に加入しましょう

新津税務署

なお不明な点は小須戸町商工会又は町役場税務課へお問い合わせください

県道除雪にご協力を

今年も雪の降る時節となりました。

新津土木出張所より県道の除雪について、つぎのとおり要望がありましたので、お知らせいたします。

一、県道に面した屋根の雪を、県道におろすときは役場と話し合いの上で、日を定めてください。おろした雪は土木出張所の車ですてます。

二、除雪をした道路には絶対に雪をすてないこと、せっかくの除雪がむだになり、交通事故のもととなります。

三、道路に物件を放置しておかないこと。除雪の際こわれても文句をいわれませんから、特に自動車等は、除雪前に格納し、もし故障等のため雪の中に自動車がとまった場合は必ず標識を立て、除雪の際位置がはっきりとするようにしておくこと。

商店街の一斉休日は五日と二十日です。

お買物は、前日にお願いします。

小須戸町商工会

赤い羽根共同募金完納へ

新潟地震で小須戸町の皆様も大きな被害をこうむったにもかかわらず、皆様の深いご理解により温かい愛の手をさしのべていただき、本年度の目標額二十三万五千円のところ二十五万九百四拾四円と目標額を突破させていただきましたのでご報告申し上げると共に厚くお礼申し上げます。

なお還元金として拾六万五千九百四拾四円は町の社会福祉事業費として使用させていただくことになっています。

托鉢でご寄附

仏教三融会

更に仏教三融会の歳末助け合いに托鉢の浄財一四、九四六円を社福にご寄附をいただきました。

又長期療養者その他の方々一〇三人の慰問も民生委員のご協力で終わりました。

赤自動車のお知らせ

十月一日から小須戸局と新津局の間に、自動車便が開始されました。この赤自動車がくるようになり小須戸、新津間の郵便は翌日配達されることになりました。赤自動車の時間はつぎのとおりですが、その一時間前までに局へお出しになれば、必ず結束されます。

一号便
新津発午前八時二五分
小須戸着　八時二五分
小須戸発　八時三〇分
新津着　八時五〇分

二号便
新津発午後三時三〇分
小須戸着　三時五〇分
小須戸発　五時一〇分
新津着　五時三〇分

また市外地ではお宅の附近のポストの取り集め時間までにお出しになれば、新津市宛のものは翌日必ず配達されます。この自動車便ができたため小須戸のみなさんがお出しになる手紙は、いままでより相当早く先方に着くことになりました。

馬車もリヤカーもめったに見られなくなった時代に、まったく時代遅れの話ですが、とにかく小須戸へ赤自動車が来るようになって、喜んでおります。一層のご利用とご協力をお願いいたします。

小須戸郵便局

成人式案内

期日　一月十五日　午前九時三〇分より
場所　小須戸小第一音楽室

※成人のみなさんおめでとうございます

主催　小須戸町

農業を私たちの産業へ

（その二）

新潟県総合開発計画の冒頭には将来の見通しとして重化学工業を軸として産業構造が再編成され将来をとりまく環境条件は変化するであろうことを予測して基本的話題である格差発生の要因をとらい改善をはかりつゝ農林業を経済発展の一翼を荷なう産業として確立することにあるとあります

十月五日は第一四八号の広報(1)を今一度開いて見てください。説明もなく農業経済指標（別表1）として表を入れておきましたがそれを新潟県総合開発計画による農業計画の集約された将来の目標であり姿である訳であります。じっくりと右から左へ読んで見てください実数以外は百分比で表示されております。私たち農業の方向が想定され今か環境条件に併立して行よう、共に総力を上げて計画し実施に移して行くことが必要であります。

環境条件の主流となる総体的経済の流れをふりかえって見るにご承知のごとく四、五年前に打ち出された所得倍増計画に始まり百下所得自由開放経済と一連の基本線により進められて来ております。その経済安定成長の基本成長率は年七～八%におかれ消費上昇率は年三%程度が理想とされ経済の安定を確立しつゝ進められて来たのが本質であったわけですが現実はその通り行かず多くの問題が生じて来ていることはご承知の通りであります。我々はひとりひとりがもっと真剣にこれらに取組んで行く必要があるのではないでしょか、理屈は誰でも言われます。

景気循環も不景気なしの梯子型階段式経済成長とでも言います。いま少し梯子を立て過ぎないで横にする政策的のものが必要に思われてなりません。経済成長の頂点は予測できませんが六、七合目と言う所でしょうか、最近中期経済計画案が新聞紙上に出ておりみかえり所得や物価等の問題が論ぜられております。尤もむずかしい時期に入って来ておるものと思われます。

すべては外国経済との競争を目標に体質改善を工業生産中心に大量生産体制のため規模の拡大近代化合理化と進んで来ておりましたが、近年に至りひずみの問題で農林業や中小企業に一部対策が重点をおかざるを得なくなって来ておる状態であります。現今は国と国が提携し経済廻転をやり企業と企業の提携は力が弱くなりつゝあるといわれております。

日本経済の指針は国際収支と設備投資にあるとされておりますが、このなかにあって打ち出されたものが農業構造改善であり林業構造改善であります。次いで商工業の構造改善的のものが考慮されることは必然的と思われます。

断片的に記して参りましたのでわかりにくい点もあると思いますがいかに私たち農業がすべての条件に遅れており一日も早く条件的体制を整備しなければならないかを感ずるものと思います。

農業政策に対しては、多少不備の点はあると思いますが、これ程政策的に国がいま全力を上げていることはないと思います。要点はただ農業者がこれをいかに受け止めるかという一点にかかっておると思います。

新潟の新産都市計画では基本的には五地区（新潟、新発田、水原、新津、白根）に振り割り、各々の地区の役目、受持事項等により方向づけられていくようであります。小須戸町は新津市と共に、住居環境地帯と一部観光地帯が打ちだされておるようであります。

地域の発展のため訪問集会を

本町における新生活運動は近年やや下火になったようでありますが、ここにお知らせする矢代田第六常会（常会長目黒徳信義氏を講師にお招きして過去の業績を反省し進んで今後の向うべき道を求めて、お話し合いをされたのであります。

この常会でやっておる訪問集会のおかげで地区内二ヶ所に掲示板を作ったこと。当局にお願いして道路を直してもらったこと集会の時間厳守ができるようになったこと、他家からもらった仏事や祝事のお菓子を隣近所へわけてやる風習をやめたこと、いろいろ生活改善をはかってこられたが、それらのことよりもっと目には見えない大きな効果があるのじゃないでしょうか。

それでこの常会では今後も訪問集会を、継続しこれからは特に環境衛生の改善に力を入れることを申し合わせ、講師先生の指導により今後一層町の各方面と連絡をとって、効果的な運営をするようにしようというお話がありました。

小須戸町のどの部落や町内にもこのような訪問集会がおこなわれるようになったらどんなによいことだろうと、願いながら筆をおきましょう。

矢代田第六常会の訪問集会

＝町民の声＝ みんなで考えよう

「すべての国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、かつ育成されるよう努めなければならない。」この文句をよく聞きまた新聞雑誌等においてもよく見る文字ですが、反面先ごろの新聞は「小須戸で子供の忍者遊びで小屋を全焼」まったくあい反する報道です。また新聞は各地での児童館建設や遊園地、母子健康センター公民館の新築改築等毎日のように明るい話題でつつんでいますが、小須戸はどうしたのでしょうか、町当局はどうしていられるのでしょうか。

町当局者にしてみれば借金の返済や利子、人件費でちようど予算がいいといわれるかと思いますが、他の市町村区とたいして変わりのない財政かと思われます。どこか町当局者の考え方が違うのではないでしょうか—。たしかに学校の建築等については一生懸命です。

先日おこなわれた小須戸小学校九十周年記念行事は盛大におこなわれましたが、あの方法も今少し考える余地があつたのでしょうか。

日本経済の指針は国際収支と設備投資にあるとされておりますが、これ程政策的に国がいま全力を上げていることはないと思います。要点はただ農業者がこれをいかに受け止めるかという一点にかかっておると思います。

新潟の新産都市計画では基本的には五地区（新潟、新発田、水原、新津、白根）に振り割り、各々の地区の役目、受持事項等により方向づけられていくようであります。小須戸町は新津市と共に、住居環境地帯と一部観光地帯が打ちだされておるようであります。

何にか血のかよっていない行政ではないでしょうか。

小須戸も時代の流れにもれず、共稼ぎの家庭が増加している今日です。

小須戸中学校の体育部は帰っても自分ひとり。結局彼らは暴力団予備軍として育成されていくのではないでしょうか——。

口さきだけでなく、心から彼らの父となり、母となり町民ひとりひとりが暖い気持で相談相手になろうではありませんか。警察の方々もひとりの無灯火を補導するより、一つの若い芽を暖かい心で指導してやってください。また関係各方面の協力により活気ある明るい町つくりにみんなで前進しようではありませんか。これらの点について町当局の方針はどうなんでしょうか＝小須戸を一日も早く修理をし、広場を作ってください。このような暖かい行政が不良化防止、明るい町つくりにと、はねかえってくるのではないでしょうか、残された彼らはなにをすればいいのです。家に帰っても自分ひとり。結局彼らは暴力団予備軍として育成されていくのではないでしょうか——。

口さきだけでなく、心から彼らの父となり、母となり町民ひとりひとりが暖い気持で相談相手になろうではありませんか。警察の方々もひとりの無灯火を補導するより、一つの若い芽を暖かい心で指導してやってください。また関係各方面の協力により活気ある明るい町つくりにみんなで前進しようではありませんか。これらの点について町当局の方針はどうなんでしょうか＝小須戸を卒業した者にまでは外に住んでいる方々の名簿を揃えるためという理由で名前を書かせ、半月後には寄附をお願いするという、全くペテンにかけたようなものではないでしょうか。それも今春長さんは見られました。

学校設備も新しい役場建設もたいへんけっこうな話です。それよりも彼らの遊ぶ野球場、児童館公園はどうするのです。公民館はありますか。公民館の床等の破損を町市と同等位に向上をしたいが、あの床等の破損を町とか、発育盛りの彼らに八時間通しのテスト(日)か？このこわれた部分を？。他市町村は剣道柔道等で警察、先生、町当局、町民と協力して明るい町つくりに貢献している話しを耳にしますが、勉強にでは、はみだされ、残された彼らはなにをすればいいのです。家に帰っても自分ひとり。結局彼らは暴力団予備軍として育成されていくのではないでしょうか——。

口さきだけでなく、心から彼らの父となり、母となり町民ひとりひとりが暖い気持で相談相手になろうではありませんか。警察の方々もひとりの無灯火を補導するより、一つの若い芽を暖かい心で指導してやってください。また関係各方面の協力により活気ある明るい町つくりにみんなで前進しようではありませんか。これらの点について町当局の方針はどうなんでしょうか＝小須戸を卒業した者にまで愛する住民＝

運転者にご注意…カサさし運転など横向きふたり乗り禁止

十月三十日から新潟県道路交通法施行細則（条例）が一部改正されましたが、そのうちみなさんに、ぜひ知っておいていただきたいのはつぎのとおりですから、交通事故防止のため実行につとめてください。

記

一、からかさや、こうもりをさして自転車を運転しないこと。

二、ふたり乗りできるバイクや二輪の自動車の座席に、他の人を乗せるときは、「横向きに腰かける姿勢」で乗せないこと。

（運転者の責任です）

三、トラックで土砂などを運搬するときは、飛散させてはならない。

（満載して、とちゅうボロボロこぼすと違反になる）

四、道路に商品、品物を突き出しておいたり、またはつり下げてはならない。

ジフテリア百日咳予防接射のお知らせ

つぎのとおりおこないますので、おまちがいのないように、お受けください。

ジフテリア

対象　昭和三十七年六月一日より昭和三十八年六月三十日までに生まれたもの。

期日　一月十八日（月）午後一時三〇分より三時まで

場所　小須戸町公民館

ジフテリアのみ

対象　昭和三十三年四月二日より昭和三十四年四月一日までに生まれたもの。（新一年生をいう）

期日　一月二十五日（月）一時三〇分より三時まで

場所　小須戸町公民館

みなさんご注意

火災盗難の一般予防はもちろんですが、特につぎの事項に注意しましょう。

一、詐欺

金づまりにより、いろんな手を使って詐欺を働くものが出ています。目先の欲に釣られないようにしょう。

二、人ごみの中では

「スリ」「万引」や、かばん、ハンドバッグ等をねらう「ひったくり」に注意。

三、車上狙い

車上狙いというのは自転車の荷掛、又は自動車の荷台の荷物を隙を見て盗むドロボーの一種の手口です。年末のようなみんなが忙しいときはこの被害が多いものです。

四、その他

交通事故などを起さぬよう身体を丈夫にして年の瀬を切りぬけましょう。

踏切にご注意

冬の間小さい踏切の敷板がはずれます。

昨年の冬加茂で、敷板をはずした踏切において自動車がエンコして列車と衝突した事故が起きています。

農道踏切のようなところは、板をはずすと、通行止の杭を打ち更に掲示板を立てることになっていますが、場所によっては掲示しないところもあります。

したがってこれからは車も歩行者も板があるかないかよくたしかめて、安全に通行するようにしましょう。

魚介類の行商には登録を

魚介類というのは冷凍ものも含みます。

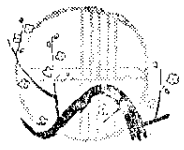
生きた魚を水に入れて売るのはさしつかえありませんが、そのほかのものを行商する場合は、県知事の登録証が必要であります。

また登録しても衛生的な容器でなければならないとか、いろいろな規定があります。

その規定は県の条例になっています。

病気を予防するためにも条例に違反しないようおたがいに注意しましょう。

新購入図書



○こちら社会部　菊村到
○炎は流れる②大宅壮一
○炎は流れる③
○現代の常識外来語　現代語研究会編
○天保図録　松本清張
○浮世風呂　遠藤周作
○青春の構図　曾野綾子
○泣き獅子　山岡荘八
○殺人の季節　中野五郎
○機関銃下の首相官邸　迫水久常
○風変わりな夜　結城昌治
○ヒロシマに灯は消えず　作K・ブルックナー
○非色　有吉佐和子
○風の隠密　鳴山草平
○されどわれらが日々　柴田翔
○昨日の絵今日の歌　串田孫一
○影の凶器　梶山季之
○流浪の青春（巷説太閤記）城昌幸
○ロバータさあ歩きましょう　佐々木たづ
○刀匠一代　宮入昭平
○大坂城物語　村上元三
○南太平洋　石川栄吉
○鬼女山房記　杉三原寿一
野上弥生子著
○柳生忍法帖03
○かげろう忍法帖04
○野ざらし忍法帖05　山田風太郎
○福祉国家の明暗　森山真弓訳
○雪と足と　むのたけじ
○清貧の書　林芙美子
○竜馬がゆく　司馬遼太郎
○望郷　原田康子
○悪霊の群　山田風太郎著
高木彬光
○ジャンボ　磯村淳訳
○玉を抱いて泣く　佐藤春夫選作集
○昼なき男　島田一男
○脳波の誘い　佐野洋
○たばこ娘　源氏鶏太
○知能犯　梶山季之
○赤いダイヤ（上）
○赤いダイヤ（下）　梶山秀之
○中南米を行く　NHK特別報道班
○藤十郎勝負　颯手達治
○人蟻　高木彬光
○零号租界　島田一男
○生命を探検する　和田昭允

霜月句会

小須戸町俳句同好会

末枯や女ばかりの畑仕事　芳人
庭園灯低く明るく時雨おり　山葵
佐渡見ゆるまで登りて紅葉狩　杏水
久々の三国の晴や稲架を解く　喜雨
土塊と共に転げて冬蛙　溪灯
冬ばらや垣いかめしき変電所　虚新
炭たして句会に誘う電話かな　越樓
刈りし田の水の青空冬はそこに　樫男
冬ざれの野の限り無くバス揺れて　小滝
この道は枯野の中の干拓地　水月
対岸は飛田の如くに芦刈られ　香月
ハッ手の葉たそがれかけり白き花　武田
落葉焚く人に落葉散りかゝり　流水

祝文化祭句会

小須戸町俳句同好会

サルビヤの紅したたらせ今朝の雨　芳人
くりやごとすませし妻と柿をむく　旺資
オリンピックは東京のこと稲架下す　山葵
朝風にのりてどこ迄稲ぼこり　香月
終り荷は夜道となりし稲ぐるま　虚秋
晩菊や澄みゆく池の片ほとり　溪灯
音もなく庭の落葉に石光る　越樓
鎌洗うかすかな濁り秋の川　水月
つぎはぎの障子といえど菊一輪　杏水
暮れている稲架をはなれし二人哉　喜雨
十人の刈り手晩稲にざわめきて　小滝
藤の実のはぜて落ちたる芝の上　向日葵
稲車自転車おりて通しけり　宝竜
つるし柿かすかに届く風呂の煙　流木

訂正　先月号の
雛頭の降られながらも耕と雨ゆる　誤
雛頭の降られながらも耕と崩ゆる　正